

メッセージのやりとりで誤解…！？

～ 友だち同士のトラブルを防ぐために！～

メールやチャットなど、SNSにおける文字のやり取りは、相手の顔や表情、声の感じがわからないため、自分が伝えたいこととは違うニュアンスで受け取られてしまうことも…。

ネットのコミュニケーションの中で誤解されたと思ったときは、直接友だちと会って話し合い、誤解を解消させるようにしましょう。

【誤解されやすい言葉】

○「いいよ」

いいよと言われたから遊びに行ったら、出かけるから「来なくていいよ」の意味だった。

○「がんばってね」

元気になってほしくて、がんばってねと励ましたら、責めてると思われた。

○「変じゃない」

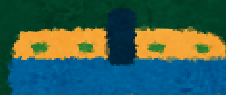
変じゃないは、「変だ」にも「変ではない」にも取れます。

○「かわいくない」

かわいくないは、「かわいい」にも「かわいくはない」にも取れます。

○「なんで来る」

なんで来るは、「なぜ来るの？」にも「何に乗って来るの？」にも取れます。



これらの言葉は、「言葉が足りない」ために相手に誤解を招く例示です。自分の中では相手が理解してくれていると思っても、相手が理解しているとは限りません。メッセージを発信する前には、内容を読み直し、ちょっとした誤解で、すぐにトラブルにならないよう、安心して思ったことを言い合える友だち関係をつくっていきましょう。

本メールに関して御質問、お問い合わせがある場合は下記まで御連絡ください。

【担当】福井県安全環境部県民安全課 小林

電話：0776-20-0296（直通）メール：s-kobayashi-7g@pref.fukui.lg.jp

「家庭の日」推進テーマ3月「こどもの成長を祝い、みんなの夢を育てよう」

「青少年育成の日」推進テーマ3月「役割を自覚させ、やりとげる態度を育てよう」